Pace

久しぶりだな 元気だったか？
あれからどれくらいが経ったかな
始めよう また途切れたままの話
どっかでふてくされているアイツにも
このbeatsとrhymeで合図しよう
覚えてるだろ？この歌声
ここで交差する思い出
閉ざした過去も今ほどいて
日々変わる狭い世界で
リスタートする関係性

これは誰かの受け売りじゃねぇ
まだ俺たちのやり方で
この言葉を トラックに乗せ
お前らに届ける
テーマなんてもう決めてもねぇ
どこまで？ってまだ決めちゃいねぇ
握るマイクに想いを乗せて
未来に響かせる

自由で不自由 余裕と窮屈
時代に合わせ呼吸するつもりはない
上げてく俺のペースで
ぶれない心の奥のベースメント
懐かしいポスター 色褪せた壁
その中で録り溜めたこの歌で
まだやれると信じてる my life
笑われても他にはない
気付けば人生も後半さトワイライト
まだ終わらない こっからがハイライト
音が繋いだお前らとの再会
時は刻み気付けば明日へ
道別れても お前に幸あれ
いつかまた ここで会う日まで
俺たちはパズルのワンピース
もう変わらない関係

これは誰かの受け売りじゃねぇ
まだ俺たちのやり方で
この言葉を トラックに乗せ
お前らに届ける
テーマなんてもう決めてもねぇ
どこまで？ってまだ決めちゃいねぇ
握るマイクに想いを乗せて
未来に響かせる

Weekend vibes feat.2Y

感じるSympathy繋がる線と線
またエンドレスにループして円と円
どこにいたって結局のとこ居場所は
ビートの上 また戻って来たのさ
胸を張ってI'm a ライマー なんて
のんびりしてる場合じゃないな
気が気じゃないが 未来じゃない
今以外ない今を楽しみなさい

楽しむために必要なこと？
何だろなぁ〜何かとなぁ〜
考えちゃうよなぁ
あれやこれや障害がってなぁみんな
(ナーミーン？)
あの頃はって言いたくはない
おれたちまだそんな年じゃない
いいねするか迷うなら
とりあえず家から出ちゃおうか

Friday night 集まりなここに
ふさいでないで その耳で
しっかりと聞き分けな本当の声
聴こえたら声上げな oh yeah
Saturday night 羽伸ばす週末
咲かせたいだろ？まだまだまだ
しっかりと探しな君の居場所
見つけたら声上げな oh yeah

週末まであの場所まで
何時間を組織の歯車に
合わせ気を使って溶け込む術
確かなリズムの中にズレ
A面B面回し経験値上げ
溜めながらさぁもう十数
年 解き放つトラックの上
で マイクを握ることが幸
せ
だれがfreaky？ 上手く行くかなん
てフィフティー いやほとんどゼロ
誰かから見りゃすげーリスキーな
日々 だけどいらん常識はkick it 空
あくびしてchillin’ Weekday から
Weekend 駆け抜けて また繰り出
す freeway お前が居りゃ行くしか
ねぇ 始まる今夜限りの名場面

Friday night 集まりなここに
ふさいでないで その耳で
しっかりと聞き分けな本当の声
聴こえたら声上げな oh yeah
Saturday night 羽伸ばす週末
咲かせたいだろ？まだまだまだ
しっかりと探しな 君の居場所
見つけたら声上げな oh yeah

Friday night 集まりなここに
ふさいでないで その耳で
しっかりと聞き分けな本当の声
聴こえたら声上げな oh yeah
Saturday night 羽伸ばす週末
咲かせたいだろ？まだまだまだ
しっかりと探しな 君の居場所
見つけたら声上げな oh yeah

Vitalizer -smooth rap-

今日もマイペースよりは少しハイペース
歩く道端にも 花は咲いてる
腹抱えて笑えてたあの日と
変わらずまだ輝いてる
胸張れるような話題は無いが
いつかは誰かのVitalizer
のんびりしてる場合じゃ無いな
聴かせてやるよ洗いざらいさあ
飾り気無い言葉だが嘘はない
はしゃでたい大人まだ曇らない視界
夢や仲間が常套句
でも世間から見る目は相当クール
「くだらねぇ歌だね」
とか言われてへこんだ日もあったね
そんな時君がくれた温かい
缶コーヒーと"頑張れ"

他の誰かじゃない
君が待っててくれりゃいい
君が居る場所まで
また 歌いに行くよ
今は 今しかない
この先いつかなんてない
雨の日も 風の日も
この声が枯れる前に

おまえらと過ごした時間がなくなり
体温が低下
このままでもいいかなって思いが
全身を駆け巡る
めくるカレンダーは毎回
季節感なく眺めて終わり
何を信じ 何がしたいか
もう忘れかけていた
Qlamaの気持ち直に伝わり
この曲の意思と意味を知る
もう書けない関われないと
冷めた感情を温め消え去る
真剣に向き合うこの瞬間
こんなにも愛しく感じる
それに等しく溢れ出してる
言葉を今 ペンで綴ってる

戻れない日々 手を伸ばしても
あの景色を愛しく思うけど
時が経っても消えないもの
この先も変わらないよ ずっと

他の誰かじゃない
君が待っててくれりゃいい
君が居る場所まで
また 歌いに行くよ
今は 今しかない
この先いつかなんてない
雨の日も 風の日も
この声が枯れる前に

他の誰かじゃない
君が待っててくれりゃいい
君が居る場所まで
また 歌いに行くよ
今は 今しかない
この先いつかなんてない
雨の日も 風の日も
この声が枯れる前に

この声が
この声が

Story feat.HANA

チックタック チックタック
ほろ酔いで足取りチグハグ
で、お決まりのメッセージ
「今から会いに行くね」って
気付かぬうちに
君にフォーリンラブしちゃったよ
ドラマのように
寂しい夜は君の隣に
さあ始まるよイーアルサンスー
喉の渇き満たす缶ジュース
アーバンチュール 君との夏
ロマンス鳴りやまぬ一晩中
もういいかい？まだだよ とか
焦らさないでよばーかやろって
素直になるのも恥ずかしいから
いつの間にか 真っ赤なほっぺ

物足りないような夜も
抑えられない感情も
素直に
君と描くStory
変わり行く世界の中で
変化も無い日々も
君と居れたら
キラ キラ キラ

何て言うか 心地良いよな
隣に君がいるから
っていつもよりテンションは高めで
このまま朝までってな流れで
PM からAM
続いてけばいいね二人が永遠に
ねえベイビー
忘れないで居て

共に過ごしたこの季節をね
アップしても消えないストーリー
そんな想いばかり
無くしたって いつか語り出す
like a おとぎ話
寝ぼけまなこで こっちおいで
今日も全て 良い思い出
話はバースの頭に戻る
何て言うか 心地良いよな

物足りないような夜も
抑えられない感情も
素直に
君と描くStory
変わり行く世界の中で
変化も無い日々も
君と居れたら
キラ キラ キラ

物足りないような夜も
抑えられない感情も
素直に
君と描くStory
変わり行く世界の中で
変化も無い日々も
君と居れたら
キラ キラ キラ

泣きたくなるような事も
途切れてしまいそうな夜も
素直に
君に甘えたいの yeah
なんにもない未来の中で
取り柄もない僕も
君と居れたら
キラ キラ キラ

Highway

Highway エンジン吹かす相棒
Wanna give you ride んで 目指すホライゾン 流す毎夜 流れる街頭 ヘッドライトが照らしてく暗いとこ ガスは満タン お気に入りのワンバース 口ずさみだんだん 見えてくる湾岸線 風に吹かれる 派手なシャツがなびく 隣にいつものマイメン

マイペースな会話 慣れたドライバー
いつの間にか気付きゃお台場 みたいな お決まりのコースでご機嫌に遊ぶ
悩みも病みも振り切って加速 BGMに身体揺らしてさ 今は明日の事も忘れて さすらう 満たす 疲れも癒す そしてまだ先を目指す

まだ見ぬ場所に 何があるだろう？
街の明かりに 心奪われて
大東京の空の下
Life goes on ほらどうした？
灰になるまで走る
先へ yeah yeah

誰も邪魔出来ないこの空間
まるで魔法の絨毯
自在にspeed upからslow down
それにまだtune upだって途中さ
Go homeとは逆の方向
まだまだ終わらないぜ今日も
ウザイ喧騒抜け出して

あれもこれもそれも まとめてバックミラー
同じ日は二度とない
あてにしない誰かさんのロードマップ
今も高まり続ける鼓動が
次の場所へと俺たちを導いてく
そろそろ気が合うあの子もpickしてくride on
スタンバイする朝の太陽
みんなで笑えたらいいよな
オチもないドライブの終わりにさ

まだ見ぬ場所に 何があるだろう？
街の明かりに 心奪われて
大東京の空の下
Life goes on ほらどうした？
灰になるまで走る
先へ yeah yeah

まだ見ぬ場所に 何があるだろう？
街の明かりに 心奪われて
大東京の空の下
Life goes on ほらどうした？
灰になるまで走る
先へ yeah yeah

For your life

初期衝動から 既に末期症状
長い道のり覚えてない程
いいことがあろうとなかろうと
撃ち終わるまで撃ってまたリロード
3歩進んで2歩下がる
いや3歩進んだら3歩下がる
進んでもないのに下がってる日もあるぐらい
不安定に揺らぐライフ
でも辞めたくはないんだ
必死で覗く目の前のファインダー
散々見てきた 苦味も光りも
それに胸がさけるような痛みも
誰かにとっちゃ全てノイズ
でもお前はこの歌をchoice
向き合うぜ正直に
New beginning
乾杯しよう俺らの日々に

「もう用ない」って言われた俺たち
まだ見ぬ明日に何を残そうか？
格言や名言じゃなくても
確実に届ける ｆor your life
誰かの為に じゃなく
目の前のお前の為に
目に写ったもの綴った歌歌い
まだまだ行こうぜ are you ready?

Ispit it, my flow
君に送ろう
必死に生きてる日々にご苦労
行き当たりばったりでやってるおれらと違って
お前は 前を向いてる
普通じゃない普通を
苦痛と感じずあまた乗り越えて
靴底減らして
着実にまた踏み出してる
なのに俺は

カッコつけて飛べるような気がしてた
落ちて気付いた等身大
もう興味ないし動じない
誰かのスキルや才能 初心に帰ろう
歌えるとこがあればそこで歌うさ
待ってるお前が居れば それでいいんだ
お前が俺らに感じた光は
俺らにとってはお前だ

「もう用ない」って言われた俺たち
まだ見ぬ明日に何を残そうか？
格言や名言じゃなくても
確実に届けるfor your life
誰かの為に じゃなく
目の前のお前の為に
目に写ったもの綴った歌歌い
まだまだ行こうぜ are you ready?

「もう用ない」って言われた俺たち
まだ見ぬ明日に何を残そうか？
格言や名言じゃなくても
確実に届けるfor your life
誰かの為に じゃなく
目の前のお前の為に
目に写ったもの綴った歌歌い
まだまだ行こうぜ are you ready?

Old fashioned

きっと あの日の延長線上
足止まっても走らせるpenを
ため息交じりで吐き出すメンソール
面倒なことは 全て遠慮しとくぜ
もう裸足でgo
スキップするビートの上を 1.2.3.4
くらいな気持ちでラフに楽に
トラック流し次々に乗せてくリリック
カッコつけたり
誰かの受け売りのエンターテイメント
なんてもう要らねぇ
君たちのﾀﾀﾀ ﾀｶﾀﾀｶﾀﾀって
何言ってるかもう全然わからない
「デモのデータはエアドロで送るよ」
って言われても
俺Android あっ、お恥ずかしい
それじゃここらで結構です
自分のペースで歩いて帰ります

また時代遅れだねって
笑われたり
悪あがきだとかばかにされて
もうずっと未完成のまま でも
色褪せない
このSTORYを
飽きもせず描いて行こう

誰かの歌詞に貰った閃きを
煌めきに変えて放つ10年後
鼻摘まれたおれも数年後
誰かのイヤホンから囁く かもね？
なんとなく聴いた当時絶対気付かない
今じゃ沁みわたるOldies

間に合って良かった最終回 手前で一筋の光が射す 売れてるあの曲も来週ランク下げて 再来週にはきっとランク外 それで文句無い？だってそれが今時の流行り廃れだって まぁ興味ない あの人もあの人もあの人も メジャー行って幅きかせてたあの人も もう見ない 誰にも媚びないスタイルに まだなんか夢が詰まってる

また時代遅れだねって
笑われたり
悪あがきだとかばかにされて
もうずっと未完成のまま でも
色褪せない
このSTORYを
飽きもせず描いて行こう

また時代遅れだねって
笑われたり
悪あがきだとかばかにされて
もうずっと未完成のまま でも
色褪せない
このSTORYを
飽きもせず描いて行こう

Slow down feat.2Y

なりたかった誰かのように
背中追って歩き出したslowly
くだらねぇ事でまた時間を浪費して
次のmorning おかんマジsorry
でかい奴になって親孝行
どころか 悔し泣きまた涙そうそう
胸踊らせたあの日が懐かしい
リピートする誰かのマスターピース
そんな日々ギリ なんとかやってる
singing singingとか意味不明な人生
書き綴ったリリック でも
遠くの誰かにゃ刺さってるかもな
そんなことよりお前はどうなの？
枕濡らしてんじゃねーの？all night long
Life is one time
死ぬこと以外かすり傷だぜ？
どうなろうとも

slow down痛みを背負って
slow down未来を追ってる
slow downみんなこぞって 集
まったallday懐かしい光景
slow down肩肘張って slow
downで 毎日疲れてる？ slow
downたまには忘れて 抜け出
そうぜ日常 正直に生きよう

誰が決めた？24時間のサイクル
あと2時間あれば会いに行ける
あっという間に時は過ぎる
今まさに加速しマッハを超える
痛いとこだらけの体に
ハイボールなら体に良い
師走並みの平日を越えて
連休絡めば尚更いい
出会って別れて繰り返し現在
どっかのステージにまだ見参
絶賛 脂がまだまだ乗ってる
仲間たちと今歌っている
ただの繋がり？それはない
いつでも行けるようスタンバイ
数々の試練難題越え
俺たちはこう思うのさ

slow down痛みを背負って
slow down未来を追ってる
slow downみんなこぞって 集
まったallday懐かしい光景
slow down肩肘張って slow
downで 毎日疲れてる？ slow
downたまには忘れて 抜け出
そうぜ日常 正直に生きよう

slow down slow down slow
down 集まったallday懐かし
い 光 景 slow down slow
down slow down 抜け出そう
ぜ日常 正直に生きよう

９９３３

トランクに積み込んだ
マイクとターンテーブル
さあいつもの場所で
アイツが待ってるぜ
東京から静岡 片道約三時間
慣れちゃったら意外と近い？
って いや勘違い
200キロの道のり 抜けてくビルと山
見慣れたこの景色は
あと何回見るのかな？
行ったり来たりしながら深めた関係性
時間通りハイエース
相変わらずぶれないね

いつもリハーサルは 馴染みのスタジオで
スタジオ帰りには ちょっと寄り道して
等価交換で手にした
高価なコカ・コーラ 飲みながら
笑い転げて「じゃあまた遊ぼうな」って
新曲のデモ聴いて 走らす新東名
Punpee BASI GAGLEの後 自分の歌が来る
そんなプレイリスト
作ればまだ行けると 信じている
お前らとならば

出会いから今まで全てを
思い出して
見える世界 過ごした日々を
音色に乗せて
掴めず 溢れた夢も
名残惜しくて
歌に変えて 残しておくよ

やっと迎えた 2015の初ワンマンで
誰よりはしゃいでた QUATTROの看板前
会場のエレベーター お前はもう泣いていた
夢ひとつ叶ったって
これだから辞めれねーな
お前の喜ぶ顔が見たくて
お前の隣でずっと歌っていたくて
緊張ごまかして 演じきった無敵艦隊
大丈夫俺が居れば 今夜も問題無い

何十回 何百回 同じステージに上り
おんなじバンドの歌に 憧れて 真似をして
そのバンドと共演、 感無量の10周年
そう無我夢中で 気付けばもう中年
良い人生だったっていつか笑い合える
終わりが来て別れても
どっかでまた会える
だからもう少し 歩こうこの道を
かけがえないこの日々を

出会いから今まで全てを
思い出して
見える世界 過ごした日々を
音色に乗せて
掴めず 溢れた夢も
名残惜しくて
歌に変えて 残しておくよ

Lonely feat.miyu

まだ夢の中 この腕の中にいた
君の温もり 思い出す度に あの
日の自分を恨み 一人で迎える夜
明けは暗い 離してしまった 握
ってた手が 話せなかった気持ち
全てが 今頃になって 悔しくて
虚しくて 辛くて だらだら語り
眺めたサンセット 二人を包む夕
陽とブランケット 手と手繋いで
肩寄せるFRIDAY 口癖は「ずっ
とこのまま二人で」 泣かせたの
は俺の方 泣いてたあの日の君は
もういない あの日の景色が見え
るように 今はこのまま

Morning 今日も一人で
迎える朝まだ 夢から覚めない
Lonely もう戻れない
二人だけの季節に
想いは置き去りのままで

ねえどうして？
君の大好きだった曲も
あの頃とだいぶ変わったね
少しはにかんだ横顔に
優しい香水の香り
助手席から見える 景色全てが
違っていた

消えないね 愛しいmemories
今では 憂鬱なmelody
奏でては やるせないeveryday
君の居ない部屋で
あの時のままで

Morning 今日も一人で
迎える朝まだ 夢から覚めない
Lonely もう戻れない
二人だけの季節に
想いは置き去りのままで

Morning 今日も一人で
迎える朝まだ 夢から覚めない
Lonely もう戻れない
二人だけの季節に
想いは置き去りのままで

ねえどうして？

Blue

どんな暗い夜も終わり
朝陽が昇る
あの日に戻る事は出来ないから
今日も着実に一歩一歩
少しずつ 駒を進める
ぶれる事なく 書き溜める思い
フレッシュな音が掻き立てる
胸に青い灯を灯してく
不安な心 またほどいてく
フラッシュバックするあの日のワンシーン
立ち止まれば追い越される長針と短針
懐かしむ 暇はない
また足早に前に出るrunning
ハッとする瞬間 忘れた頃に
「頑張ってるか？」ってあいつからのLINE
悪いことばっかりじゃない my Life
笑い合えるさ またな
バイバイ

たまにちょっと染みる傷跡
刻んでいく 生きる足跡
振り向くよりも前を向く
進む 進む 進む 進め 行こうぜ
思ったより遠くない未来
タイムマシーンは必要ない
その足で 向かう先に
いつの日か 描いた日々

八つ当たり投げたコロナの瓶
その後救われたQlamaのbeats
信じていた物はすぐに壊れて
だけど時間は止まらねぇ
悩み へこみ 恨み 羨み
次々にネガティブな感情を更新 夢や希望はここに残したままで あの日のままで 見送った背中は数知れない
俺もそのひとりだったかもしれないけど 踏み止まって孤独と向き合う
進んでいけばまだ多くを失う でも信じるわずかな可能性 カッコ悪くてもまだ足掻こうって 決めたんだ ごめんな また逢おうぜ この場所でもう一度

たまにちょっと染みる傷跡
刻んでいく 生きる足跡
振り向くよりも前を向く
進む 進む 進む 進め 行こうぜ
思ったより遠くない未来
タイムマシーンは必要ない
その足で 向かう先に
いつの日か 描いた日々

ah 俺もおまえも
同じ空を 見上げている
ah 俺もおまえも
同じ空を 見上げている

Letter pt.2

友よ 俺は行くとしよう
振り返った幾つもの地図を記録
「青」と「赤」が混じるまで
立ちむかっていた写真立て
涙拭って
優しさが絡まった叙情的
人の流れに逆らった東京駅
いつか書いた
サヨナラbyebyeじゃなく
巡り巡って円となり再開果たす

つのるノスタルジー 戻らぬ日
褪せるどころかまた色濃くなるし
目を反らして 本音隠し
遮ろうとすればするほど眩しい
楽しいあの日 あのシーン あの場所には
いつもお前が笑って待ってたっけ
時が経って
俺もまたここに立ってる

拝啓 愛しいあいつらへ
今はどうしてる？おれはこうして 日々
目の前にある階段を
またひとつ ひとつ上ってるとこ
夕陽の向こう あの日を想う
途切れずに今も繋がってる
そう ひとつ ひとつ乗り越えて
また笑顔で 逢えるように

「居て当然」が「居なくて当たり前」
気付けばしなくなったカワリバエ
かなり前に分かり合えてたはずの存在が
いつしか弾けるバブルのようだ
それは失った何かじゃなく
共に目指したはずの明日がある
Back in the dayでも3人じゃ無い
countlessなPropsを感じだぜ

誰かの成功や正論とかそう言うのは
ありがた迷惑
つまんねーやつにはなりたかねーなって
溢れ出す感情に背中押され
マイク握る反抗期
なぁhomies 忘れようったって出来やしねえ
今も甦る
お前らはどう？俺ならばこう
今日も明日もまた夢を追う

拝啓 愛しいあいつらへ
今はどうしてる？おれはこうして 日々
目の前にある階段を
またひとつ ひとつ上ってるとこ
夕陽の向こう あの日を想う
途切れずに今も繋がってる
そう ひとつ ひとつ乗り越えて
また笑顔で 逢えるように

拝啓 愛しいあいつらへ
今はどうしてる？おれはこうして 日々
目の前にある階段を
またひとつ ひとつ上ってるとこ
夕陽の向こう あの日を想う
途切れずに今も繋がってる
そう ひとつ ひとつ乗り越えて
また笑顔で 逢えるように

帰り道

色褪せるはずが より色濃く 未だに
浮かぶ景色をここに残す 気付けばひ
とりベッドの上 それでもまだ綴るリ
リックall day 天を仰ぎ 寂しさは増す
失うものばかりで相も変わらず てっ
ぺんは見れずに底辺で散る もがいた
日々それも経験と知る バカやったト
モダチも 今じゃ誇らしい 思い出は
いつの日もドラマティック いつかの
誰かの "さよなら"も 府に落ちた気が
した今さら 始まりは偶然 終わりは
必然 こうやっていろんな事が終わっ
て行くね きっとお前にもわかるさい
ずれ じゃあな お先に失礼

胸を張れるような 日々でも無いけど
これで良かったと 笑って見せてよ
思い出に染まる この帰り道で
ほら ごらん
あの日の笑顔を

全部から逃げていた
向き合うことも
ぶつかること 手放すことも
ただ変わらないで欲しいと願った日々
続くと信じて 選んだ道
根拠などない 強いて言うならばこの声
同じ想い抱く誰かに届け
とっくにひっくり返した砂時計も
あとわずかで無くなるな

正解も不正解もないこの世界 でも
答えが出ないなんてあり得ない
ひとつひと全て意味がある言葉 フロウ
それを後ろにいる君に送ろう
先輩面をするつもりもない
だけどやめた方がいいな 作り笑い
明日を待ってるだけでは続きはない
好きな自分を 生きなさい

胸を張れるような 日々でも無いけど
これで良かったと 笑って見せてよ
思い出に染まる この帰り道で
ほら ごらん
あの日の笑顔を

どれほどの距離を
歩いていたんだろう？
陽は上り落ちてまた繰り返してく
ひとりきり戻る はじまりの場所へ
ただいま
あの日の笑顔で

またいつか

この世で一番好きな金曜日
こっから本気で過ごす金土日
仕事せい！って すいません
自他共に認める
どうしょうもないマイペース
書いて消して 書いて消して
そんな事バカみたいに繰り返して
やっと書きあがった曲持って
今日もこのステージに駆け上がって
みんなも 歌えるなら歌って
疲れはてるとこまで踊って
まだ全然足りないくらいです
だって今日はみんなが待ってたFriday
あっという間に過ぎる一生涯
ならばこんな日も貴重なshow time
互いに向き合ってall night long
ここに集まりゃもう大丈夫

急に寂しくなったり
あの頃に戻りたくなったり
過ぎて行く 日々は
誰にも止められない 仕方ない
今見てるこの景色も
遊び疲れたこんな夜も
またいつか yeah yeah yeah
語ろう この音に乗せて

いつからか夢中になったミュージック
気付けば今日も時計は夜の12
カッコ良く言えば音の住人
はたから見れば ただの自由人
ほんとなーんもない人生だけど
ここはいつも新鮮
誰かに貰った力を言葉に変えて また誰かを支える力に あと残すとこエンドロールのみ 涙拭って 振り返るgood day 忘れたくない 思いをすべて 無くさないように 拾い集めて また次のステージを目指して 皆と再会 それ願って 今夜も 最後の1分1秒まで 味わうビートの上

急に寂しくなったり
あの頃に戻りたくなったり
過ぎて行く 日々は
誰にもとめられない 仕方ない
今見てるこの景色も
遊び疲れたこんな夜も
またいつか yeah yeah yeah
語ろう この音に乗せて

大事な物はきっとわかる
お前の喜怒哀楽
今じゃ全てがLove
そんな仲間達と
またバカ笑いしようぜ
ここでoh yeah それじゃ
また会える日まで

急に寂しくなったり
あの頃に戻りたくなったり
過ぎて行く 日々は
誰にも止められない 仕方ない
今見てるこの景色も
遊び疲れたこんな夜も
またいつか yeah yeah yeah
語ろう この音に乗せて

平行線

いつの日か “当たり前”になってた世界
でも巻き戻せない
あの頃みたいには愛せない
そんな自分も毎日やるせない
君とふたり 歩いた日々
変わらないと思ってたのに
少しずつ離れる歩幅を
君も気付いてたでしょ？
ah 成長しないな
ちょっとした事でまたイライラ
「もう嫌いだ！」とか言って君困らせて
手を振り払って 背を向けて
そんなワガママなままの私
始まりは遠い昔話
時間が解決なんてしないって
わかってるよ

また素直になれなくてごめん
臆病で不器用な俺
Yes も Noも言えず
日が 暮れる 揺れる allday oh yeah
眩しく輝いてた君
その横に俺が居た意味
今じゃどうしようもない
もう戻れない 歪んだ未来に

いつの日か “当たり前”になってた世界
そこに甘えてたみたい
２つ並んでた影
気付けばいつからかすれ違い
そんな日々 時間に追われ
君との間に立てた防波堤
理由はどうあれ ぶつかり合いを避け
今を繰り返すだけの平行線
ah 成長しねぇな
出逢った頃から進んでないメーター
諦めたとかじゃなくあくせく過ごしてたら
向き合う余裕も無くて
なんて 端から見ればいい加減？
並べた 見映えのいいごたくと言い訳
色褪せてくふたりの地図
地平線に陽が落ちる

また素直になれなくてごめん
臆病で不器用な俺
Yes も Noも言えず
日が 暮れる 揺れる allday oh yeah
眩しく輝いてた君
その横に俺が居た意味
今じゃどうしようもない
もう戻れない 歪んだ未来に

また素直になれなくてごめん
臆病で不器用な俺
Yes も Noも言えず
日が 暮れる 揺れる allday oh yeah
眩しく輝いてた君
その横に俺が居た意味
今じゃどうしようもない
もう戻れない 歪んだ未来に

ネバーランド

いつかのTV SHOWで観たラップスター
その頃取り柄も無くてどんくさい俺は
ただその姿に憧れて
金のネックレス （実はメッキです）
Timber以外はバッタもんばっか
でも希望に満ちた 若気 バッカゲイン
未だにスターとはえらいギャップ
今となればそれも変えてやるぜラップに

赤のフェラーリじゃなく
白のハリアーで
向かうスタジオ 毎晩 毎晩
眠い目こすってリリックを描いた
上手くいった時にゃみんなではしゃいだ
2PACみたいなイカしたラップは
出来ないけど
日進月歩でレベルアップ
このペースで行けばまだ行けるはず
もったいない今さら辞めるヤツ

成功者ってやつになんてもう
なれなくったっていい
好きな音に囲まれた every day
だから
もう少し このままで
変わらないメンバーで
夢を奏でてる every day

ブーンパッ ブーンブーンパッ
て飽きるほど聴いてもう十分だって
なると思ったけど全然足らん
ビートの上が俺らのネバーランド
take a chance ペカらん 俺たちも

もうちょいだけ回したら
結果わからんぞ？
そんで回し続ける舌とヴァイナル
そんなヤバイやつ yeah

特技は今日も反省しない
あれは およそ四半世紀前
イツナロウバにSTEPPER'S DELIGHT
忘れはしない 変幻自在
俺たちの目標 夢になった
そんで半分 夢叶った
未だにマイク持つステージの上
じゃあこのまま天国へ

成功者ってやつになんてもう
なれなくったっていい
好きな音に囲まれた every day
だから
もう少し このままで
変わらないメンバーで
夢を奏でてる every day

成功者ってやつになんてもう
なれなくったっていい
好きな音に囲まれた every day
だから
もう少し このままで
変わらないメンバーで
夢を奏でてる every day